第１期計画期間における大台ヶ原の利用に係る社会情勢の変化

年	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
大台ヶ原[1]	・大台ヶ原自然再生推進計画策定 ・筏場大台ヶ原線歩道通行止め ・大台ヶ原自然再生事業 苔むす森をふたたび－100 年先を見すえて－発行 ・PV 観察会 ・白浜町立児童館体験事業「大台ヶ原自然探索」 ・大杉谷登山道通行止め →	・白浜町立児童館体験事業「大台ヶ原自然探索」 ・PV 観察会 ・私が見つけた大台ヶ原の自然写真コンテスト ・PV 観察会 ・自然体験プログラム ・大杉谷登山歩道の一部通行止め解除	・第 50 回記念全国高校登山大会奈良インターハイ ・白浜町立児童館体験事業「大台ヶ原自然探索」 ・AR 観察会（10 月までに 13 日開催） ・西大台利用調整地区を新設することを告示 ・PV 観察会（7月まで） ・自然体験プログラム ・子どもパークレンジャー	・VC にペレットストーブ設置 ・集団施設地区における倉庫の新築 ・吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画策定 ・西大台利用調整地区運用開始 ・AR 観察会（10 月までに 12 日開催）・PV 観察会（10 月までに 4 日開催） ・自然体験プログラム	・白浜町立児童館体験事業「大台ヶ原自然探索」 ・橿原市昆虫館主催「大台ケ原の自然～春の東大台を訪ねて」開催 ・PV 観察会（10 月までに 5 日開催） ・集団施設地区における旧倉庫の解体撤去 ・AR 観察会（11 月までに 11 日開催） ・自然体験プログラム（10, 11 月）
上北山村[2]	・大台ヶ原山祭り ・「大峯奥駈道を歩く」開催 ・大台ヶ原自然再生推進に関する説明会 ・第4回ヒルクライム大台ヶ原 since2001 開催 ・大台ヶ原クリーンキャンペーン実施	・大台ヶ原山祭り・自然観察会 ・第5回ヒルクライム大台ヶ原 since2001 開催 ・第 51 回近畿高等学校登山大会開催 ・「原始の森「西大台」ウォーク」開催	・大台ヶ原山祭り・自然観察会 ・国道 169 号新伯母峰トンネル南側の法面が崩壊し、通行止めに → ・第6回ヒルクライム大台ヶ原 since2001 開催 ・「心の道ウォーク」開催 ・大台ヶ原クリーンキャンペーン実施 ・高校総体 第 50 回記念全国高等学校登山大会開催	・国道 169 号通行止め解除 ・「心の道ウォーク」開催 ・第7回ヒルクライム大台ヶ原 since2001 中止 ・大台ヶ原山祭り ・大台ヶ原クリーンキャンペーン実施 ・紀伊半島知事会議開催	・大台ヶ原山祭り ・「大自然体感ウォーク」開催 ・第7回ヒルクライム大台ヶ原 since2001 開催 ・上北山村エコツアー開催
川上村[3]	・筏場大台ヶ原線歩道通行止め ・第４次総合計画スタート ・大台ヶ原自然再生推進に関する説明会 ・村有林が SGEC「緑の循環」認証取得	・白川渡オートキャンプ場オープン	・森と水の源流館 来館７万人突破 ・奈良交通路線バス一部廃止・スクールバスの住民利用拡大	・森と水の源流館 来館８万人突破 ・「山に学ぶ、人づくり・地域づくり」シンポジウム開催	・森と水の源流館 来館 10 万人突破
大台町（旧宮川村）[4]	・台風 21 号による集中豪雨 ・大規模な土石流、土砂崩れが発生 ・６名死亡、１名行方不明 ・大杉谷登山歩道通行止め →	・大杉谷登山歩道の一部通行止め解除 ・旧宮川村と旧大台町が合併 ・尾上町長就任 ・大杉谷登山歩道被災調査結果報告 ・イオン環境財団と共催で被災跡地に植樹実施	・大台町良いとこ巡り「大台ヶ原・宮川源流宿泊登山」 ・災害復旧地見学・報告会開催（大杉谷自然学校）	・大台町良いとこ巡り「大杉谷国有林登山」 ・第１次大台町総合計画策定 ・「大杉谷自然学校自然体験活動指導者養成講座」開催	・デマンドタクシー試験運行開始 → ・本運行開始 ・大台ヶ原・大杉谷国有林登山（大杉谷自然学校）
奈良県[5]	・「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録 ・「奈良県森林環境税条例」公布 ・吉野町で、パーク&バスライドの試行実施	・「平城遷都 1300 年記念事業協会」が設立 ・「21 世紀の観光戦略」策定 ・奈良市、月ヶ瀬村、都祁村が合併 ・「奈良県地域認証材制度」開始 ・吉野町で、パーク&バスライドの社会実験を実施（H6 年から試行実施） ・「やまと 21 世紀ビジョン」策定	・森林環境税導入 ・吉野町で、パーク&バスライドの社会実験を実施（H6 年から試行実施）	・「奈良県農林振興ビジョン 21」策定 ・荒井新知事誕生 「歩く奈良の推進」を提唱 ・吉野町で、パーク&バスライドの社会実験を実施（H6 年から試行実施）	・「南和ふるさとフォトコンテスト作品展」開催 ・「平城遷都 1300 年祭実施基本計画」策定 ・奈良県中心市街地で一方通行等による社会実験を実施 ・吉野町で、パーク&バスライドの社会実験を実施（H6 年から試行実施）
三重県[6]	・「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録	・大杉谷登山歩道の一部通行止め解除 ・「三重県森林づくり基本計画」策定	・「県立熊野古道センター」開館 ・「森林フォーラム 2006」開催	・「三重の森林づくり検討委員会」設置 ・「第９回全国歴史の道会議・三重県大会」開催	・大杉谷登山道 復旧工事開始
環境省[7]	・第２回地球観測サミット開催 ・自然再生基本方針を閣議決定 ・京都議定書が発効	・知床世界自然遺産に認定 ・自然環境整備交付金を創設 ・「特定外来生物規制法」施行 ・「景観法」施行 ・自然公園法施行令の一部改正	・第３次環境基本計画を閣議決定 ・上高地などで自家用車に代わるバス運行などの対策実施	・丹後天橋立大江山国定公園指定 ・日光国立公園の一部を尾瀬国立公園として指定 ・自然公園法 50 周年記念シンポジウム	・「エコツーリズム推進法」施行 ・第三次生物多様性国家戦略策定 ・G８環境大臣会合開催 ・「生物多様性基本法」施行
社会[8]	・第２次小泉改造内閣発足 ・愛知万博開催 ・人口の増加数・増加率が過去最低となる ・アテネオリンピック開催 ・台風 21 号上陸 ・中越地震他自然災害多発 ・台風 23 号により死者 90 人超	・ロンドン同時爆破テロ ・トリノオリンピック開催 ・米国南部に過去最大級のハリケーン上陸 ・愛知万博閉幕 ・第３次小泉連立改造内閣発足 ・ＪＲ福知山線脱線事故 ・日本の総人口が初の減少	・イラク情勢混迷 ・日銀ゼロ金利解除 ・原油高騰が続く ・安倍内閣発足 ・社会保険庁の年金記録問題発生	・新潟中越沖地震発生 ・福田内閣発足 ・米国サブプライムローン問題	・ガソリン税 暫定税率失効 ・洞爺湖サミット開催 ・原油高騰でガソリンの最高値更新 ・北京オリンピック開催 ・麻生内閣発足
①	155,728 人	192,606 人	200,804 人	183,809 人	147,212 人
②	115.0 円 /ℓ	126.8 円 /ℓ	135.3 円 /ℓ	146.0 円 /ℓ	146.1 円 /ℓ（最高値：185 円（8 月））

①大台ヶ原 年間入込者数[9]　②レギュラーガソリン店頭販売価格(近畿局年間平均値)[10]　🟥 大台ヶ原において環境省が関係した事業

出典：1）吉野自然保護官事務所等へのヒアリング　2）広報かみきたやま 等　3）広報かわかみ 等　4）広報おおだい、広報みやがわ 等　5）県政だより奈良 等　6）県政だよりみえ 等
7）環境白書（平成 17 年度版～平成 20 年度版）等　8）イミダス 05(H16 年 4 月～9 月)、知恵蔵（H16 年 10 月～H18 年 9 月）等　9）ビジターセンター調査　10）（財）日本エネルギー経済研究所 石油情報センター